

# 平成29年度第4回 かわさき犬・猫愛護ボランティア会議

日 時 平成30年2月13日（火）  
14時00分～16時30分  
場 所 中原区役所5階502会議室

## 1 あいさつ

## 2 説明・報告等

### (1) 地域包括ケアシステムについて【資料1】

・・・川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室 企画調整担当係長

### (2) ボランティア活動報告

・・・かわさき犬・猫愛護ボランティア

ア 高齢者とペットに関する勉強会について

イ 動物介在活動について【資料2】

### (3) 本市の動物愛護関係業務について

・・・川崎市健康福祉局保健所生活衛生課

ア 地域猫活動支援について

### (4) 川崎市動物愛護センターの再編整備について【資料3】

### (5) かわさき犬・猫スタディーグループについて【資料4】

### (6) センター支援ボランティアについて【資料5】

### (7) 動物愛護フェアかわさき2018実行委員について【資料6】

### (8) 事務連絡【資料7】【資料8】

## 3 各区ごとの情報交換等

## 地域包括ケアシステム構築に向けた取組

一生住み続けたい最幸のまち・川崎をめざして

平成30年2月  
川崎市健康福祉局 地域包括ケア推進室



## 川崎市の少子高齢化の状況

- 今後、急速な高齢化が進み、2040年(平成52年)の高齢者人口は約45万人となり、総人口の30.4%になることが予測されている。
- 一方で、生産年齢人口と0歳から14歳までの年少人口は、減少の一途を辿っている。

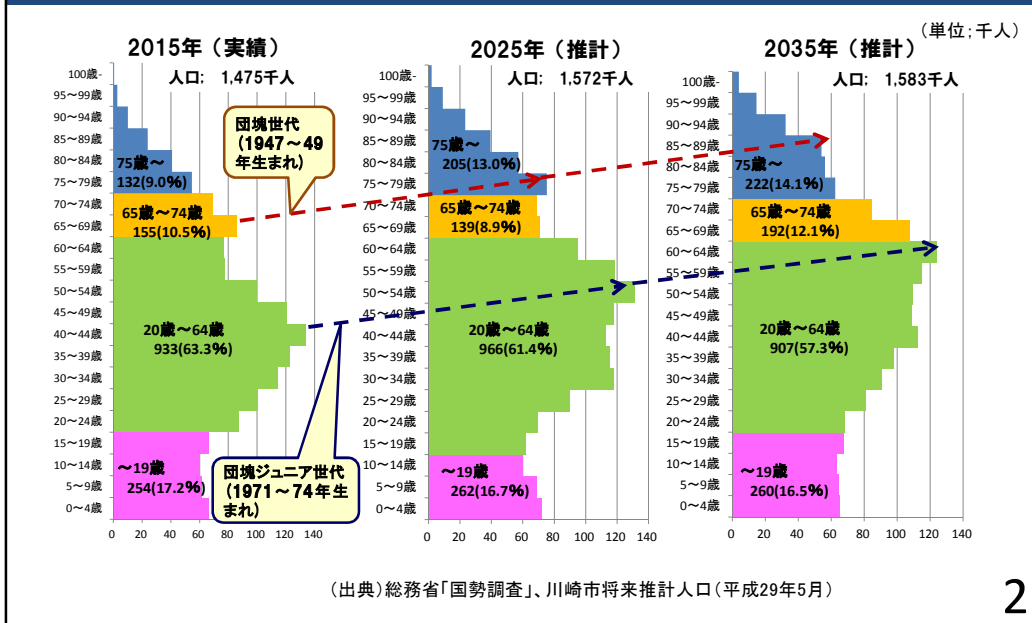
図表 将来の人口推計(年齢4区分別)



図表 将来の推計人口の年齢4区分別の割合



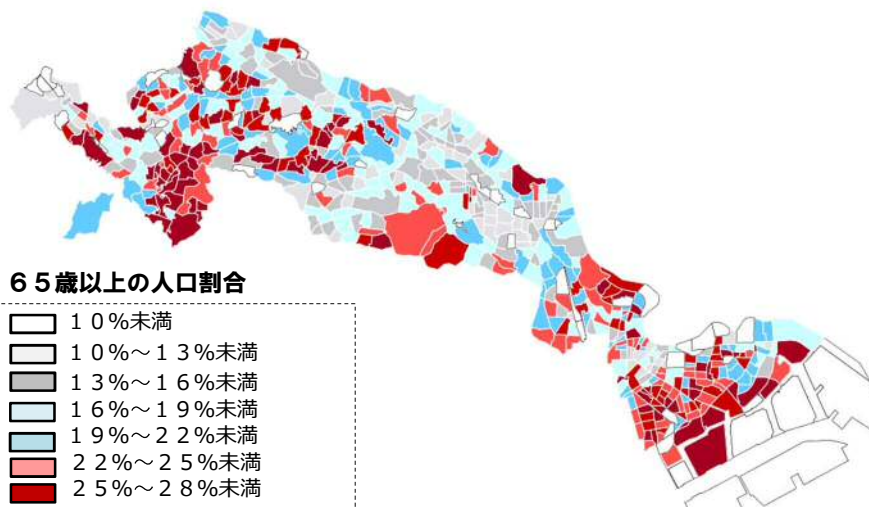
# 川崎市における人口ピラミッドの変化



2

# 川崎市の高齢化率の分布状況

各地域によって高齢化率に違いがあるなど、地域性が大きく異なっている



3

## 川崎市の特徴①

### 20政令市と東京都区部から構成される21大都市間比較

「平成27年版 大都市比較統計年表から見た川崎市」から

・人口密度	10,200人/km <sup>2</sup>	※東京都区部及び大阪市に次ぐ過密都市	
・人口増加比率	0.96%	※第2位	} (元気な都市)
・出生率	1.02(平均0.85)	※最高位	
・自然増加比率	0.30(平均△0.04)	※最高位	
・死亡率	0.72(平均0.89)	※最低位	} (若い都市)
・平均年齢	42.8歳(平均43.9歳)	※最低位	
・生産年齢人口割合	70.0(平均65.7)	※最高位	} (安全な都市)
・老年人口割合	16.8(平均21.2)	※最低位	
・刑法犯認知件数	6.4(平均11.5)/1,000人	※最低位	
・交通事故発生件数	231.6(平均522.4)/10万人	※最低位	

4

## 川崎市の特徴②

### 活発に活動をしているボランティア団体が多くいる。



【「プロボノ」企画打合せの様子】



【多摩川美化活動の様子】

5

## 川崎市の特徴 ③

### 高い技術力を持つ産業・研究機関などの 多様な社会資源



リサーチコンプレックス



ウェルフェアイノベーション

6

## 地域包括ケアシステムの構築に向けた 川崎市の取組

### 平成26年4月 「地域包括ケア推進室」の設置

子どもから高齢者まで部局横断的な取組が可能となるように、健康福祉局の中に設置。平成28年4月に組織再編。

### 平成27年3月 「地域包括ケアシステム推進ビジョン」の策定

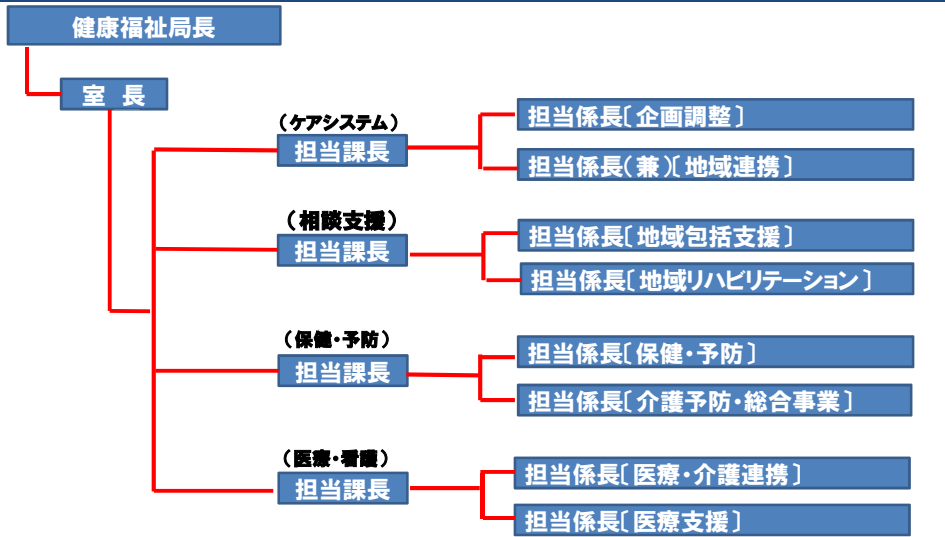
川崎市の実情に応じた「ご当地システム」として、本市としての基本的な考え方を示した「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」を地域全体で共有し、具体的な行動につなげていく

### 平成28年4月 「地域みまもり支援センター」の設置

全ての地域住民を対象として、住民に身近な区役所で「個別支援の強化」と「地域力の向上」を図るために設置。

7

## 地域包括ケア推進室の組織概要



兼務: こども未来局企画課長、児童家庭支援・児童虐待室長、同室担当課長、こども支援部長  
 併任: 教育委員会事務局企画課長、学校教育部長、同部指導課長

8

## 地域包括ケアシステム推進ビジョン



9

## 地域包括ケアシステム推進ビジョン

地域包括ケアシステムは、「安心して暮らし続けることができる地域を実現」していくこと

「安心した暮らし」を送るための要素

衣食住

保健  
医療  
福祉

地域での交流  
(あいさつ・支え  
合い等)

いきがい  
(趣味・娯楽・  
社会貢献等)

防犯  
防災など

地域包括ケアシステムとは  
「個人の生活」を守る取組であり、個人が安心して生活  
できる「地域づくり」であるといえる

推進ビジョンのテーマ



「生活」と「地域づくり」

10

## 推進ビジョンの対象者

・「地域」においては、誰もが個人として年齢を重ねながら「生活」を続けていくこと  
や、子どもから高齢者まで多様な住民が生活していることに着目

○児童期から高齢期までライフステージにおける切れ目ない継続的な取組が重要

○多様な住民が生活する地域社会においては、「個人の生活の質」を高めていくと  
ともに、住民同士も互いに支え合う関係であるという認識を共有しながら、「地域  
づくり」を進めていくことが必要不可欠

推進ビジョンの対象者は、《すべての地域住民》

本推進ビジョンでは、高齢者をはじめ、障害者や子ども、子育て中の  
親などに加え、現時点で他者からのケアを必要としない方々を含めた  
「すべての地域住民」を対象

11

## 地域共生社会との関係

国の「地域共生社会」の実現に先駆けて、本市においては推進ビジョンを策定し、全ての地域住民を対象とした取組を進めている。

### 地域課題の解決力の強化

- ・住民相互の支え合い機能を強化、公的支援と協働して、地域課題の解決を試みる体制を整備
- ・複合課題に対応する包括的相談支援体制の構築
- ・地域福祉計画の充実

### 地域を基盤とする包括的支援の強化

- ・地域包括ケアの理念の普遍化：高齢者だけでなく、生活上の困難を抱える方への包括的支援体制の構築
- ・共生型サービスの創設
- ・市町村の地域保健の推進機能の強化、保健福祉横断的な包括的支援体制のあり方の検討

### 「地域共生社会」の実現

- ・多様な担い手の育成・参画、民間資金活用の推進、多様な就労・社会参加の場の整備
- ・社会保障の枠を超え、地域資源（耕作放棄地、環境保全など）と丸ごとつながることで地域に「循環」を生み出す、先進的取組を支援

- ・対人支援を行う専門資格に共通の基礎課程創設の検討
- ・福祉系国家資格を持つ場合の保育士養成課程・試験科目の一部免除の検討

### 地域丸ごとのつながりの強化

### 専門人材の機能強化・最大活用

12

## 推進ビジョンの基本的な考え方

「生活」と「地域づくり」をテーマとし、

「すべての地域住民」を対象としていることから、

行政においては、

高齢者や障害者、子どもに関わる施策をはじめとする保健医療福祉分野に限らず、まちづくりや教育、経済分野などあらゆる行政施策に関わりがある。

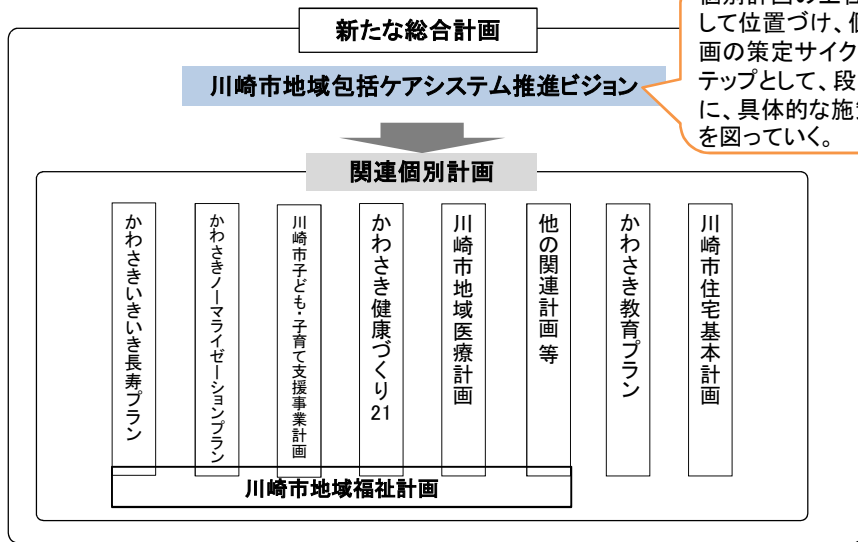
また、

行政だけではなく、市民をはじめ地域の団体や関係機関、事業者など、地域内の多様な主体の取組が重要。

13



## 推進ビジョンの位置づけ



14

## 推進ビジョンの構成

一生住み続けたい最幸のまち・川崎をめざして

### 【基本理念】

川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築による誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域の実現

### 基本的な5つの視点

#### 1 【意識の醸成と参加・活動の促進】

地域における「ケア」への理解の共有とセルフケア意識の醸成

#### 2 【住まいと住まい方】

安心して暮らせる「住まいと住まい方」の実現

#### 3 【多様な主体の活躍】

多様な主体の活躍による、よりよいケアの実現

#### 4 【一体的なケアの提供】

多職種が連携した一体的なケアの提供による、自立した生活と尊厳の保持の実現

#### 5 【地域マネジメント】

地域全体における目標の共有と地域包括ケアをマネジメントするための仕組みの構築

# 視点① 「意識の醸成と参加・活動の促進」 ～地域における「ケア」への理解の共有とセルフケア意識の醸成～

- (1) 地域における「ケア」への理解の共有と共生意識の醸成
- (2) セルフケア意識の醸成

## 児童期



- ◆ 教育を通じた、地域における多様性への理解
- ◆ 自己肯定感の醸成
- ◆ 地域に暮らす多くの人たちとの交流を通じた、共生意識の醸成
- ◆ 適切な食事・歯磨き・運動・睡眠を日常的な習慣とすることによる健康への意識の醸成

## 成人期



- ◆ 近隣住民との交流等による共生意識の醸成と、地域活動への参加等の実践
- ◆ 種々の意識の醸成に向けた次世代への教育
- ◆ 適切な食事・歯磨き・運動・睡眠など、健康づくりや生活習慣病予防等の自発的な取組
- ◆ 両親や自分自身が病気になった場合や、介護が必要になった場合などに備え、家族で事前に話し合う機会等を確保

## 高齢期



- ◆ 近隣住民との交流や地域活動への参加等の実践
- ◆ 種々の意識の醸成に向けた次世代への教育
- ◆ 本当に困った時は、地域の身近な人に相談する等、「助け・助けられ」の実践
- ◆ 適切な食事・歯磨き・運動・睡眠など、健康状態・生活機能の維持・向上のための自発的な取組
- ◆ 人生の終わりに向けた「終活」の実践

16

# 児童期におけるケアへの理解とセルフケア意識の醸成

平成29年度版

## ふれあい

—かわさきの福祉—



Colors, future  
川崎市

### やってみよう！

一人一人ができることとして、まずは、盆おどりやおまつりのお手伝い、道路や公園の清掃活動など、自分ができるところの活動があれば、思い切って参加してみるのはいかがでしょうか。

近所の人たちと親しく接することで、「地域での支え合い」の大切さと面白さを感じられるはずです。

例えば、これまでよりも元気なあいさつから、始めてみましょう。あなたから元気な声をかけられた人は、きっとうれしい気持ちになると思います。

こうした日頃のつながりが、「地域での支え合い」の基本となるのです。



○小学生向け副読本「ふれあい」  
6年生の社会科副読本による、川崎市の福祉や「地域包括ケアシステム」などの普及啓発

○中学生向け認知症サポーター講座  
中学生にサポーター養成講座を開催

17

## 視点②:「住まいと住まい方」 ～安心して暮らせる「住まいと住まい方」の実現～

- (1) 「まちづくり」に関する方針の共有
- (2) 生活基盤としての「住まい」の確保と  
自らのライフスタイルに合った「住まい方」の実現



18

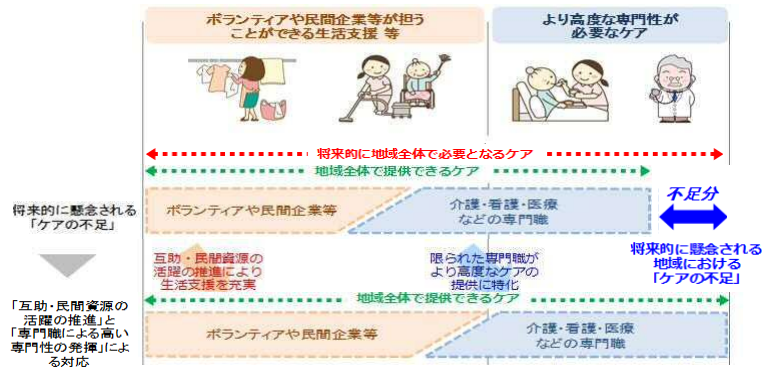
## 「住まい」と「住まい方」の支援



19

## 視点③:「多様な主体の活躍」 ～多様な主体の活躍による、よりよいケアの実現～

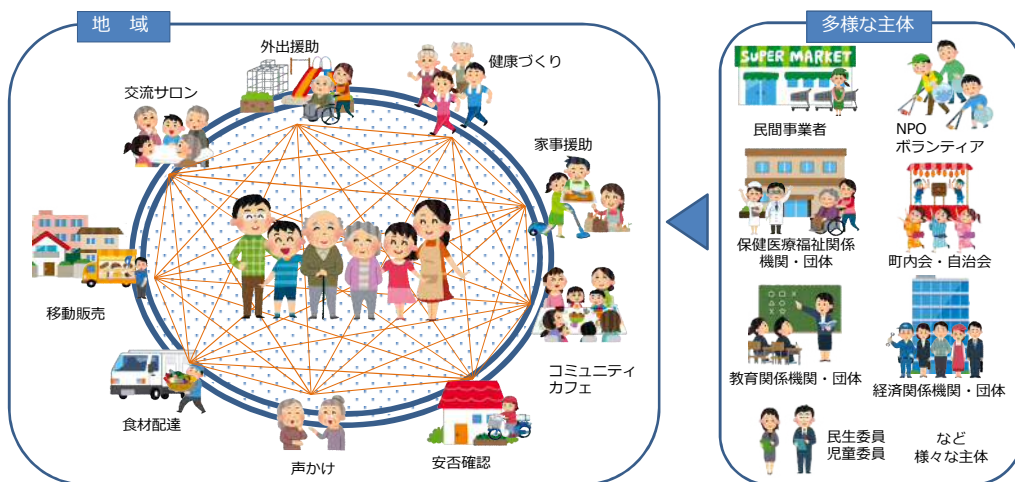
- (1) 「助け合いの仕組み」に基づく、適切なケアの提供
- (2) 地域及び住民の多様性に対応するための地域資源の創出
- (3) 適切な役割分担に基づいた、専門職による高い専門性の発揮



民間企業やボランティア等の活躍により、地域全体で提供できる  
ケアの「質」と「量」の充実が必要です。

20

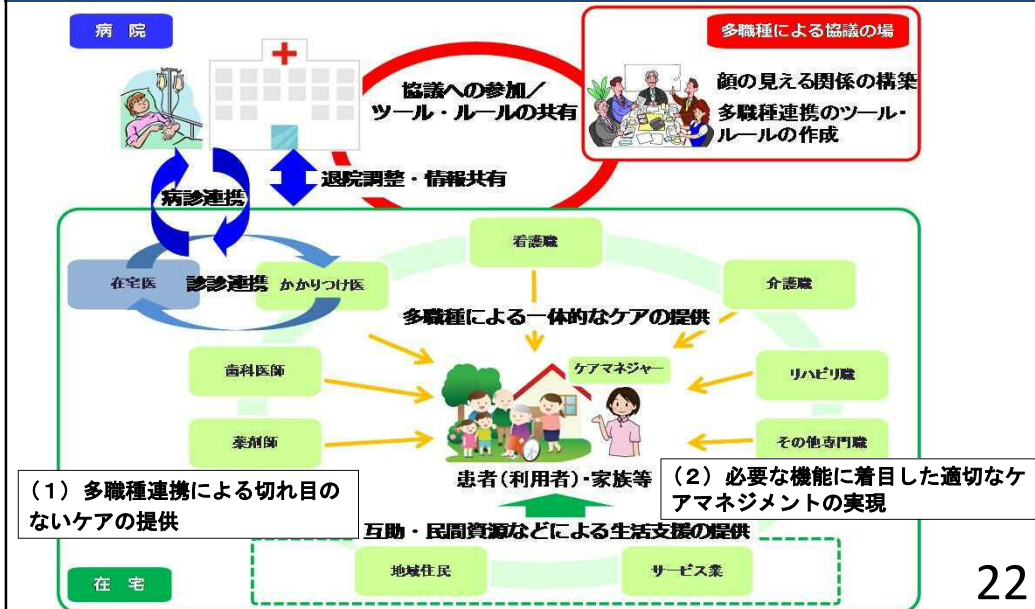
## 多様な主体の活躍



21

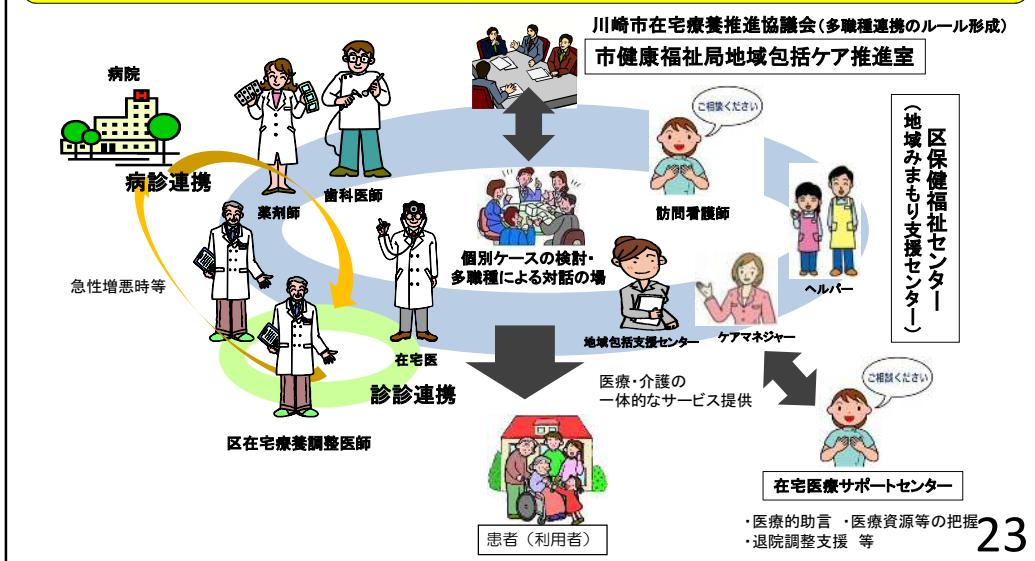
## 視点④：「一体的なケアの提供」

～多職種が連携した一体的なケアの提供による 自立した生活と尊厳の保持の実現～



## 在宅療養推進への取組

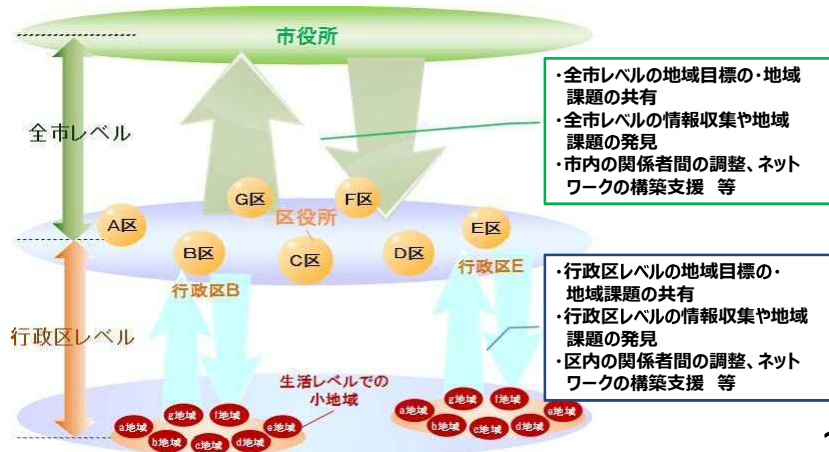
疾病を伴っても自宅等の住み慣れた生活の場で療養し、自分らしい生活を続けられるように、地域における医療・看護・介護が連携した、包括的かつ継続的な在宅医療・ケアの提供をめざす。



## 視点⑤:「地域マネジメント」

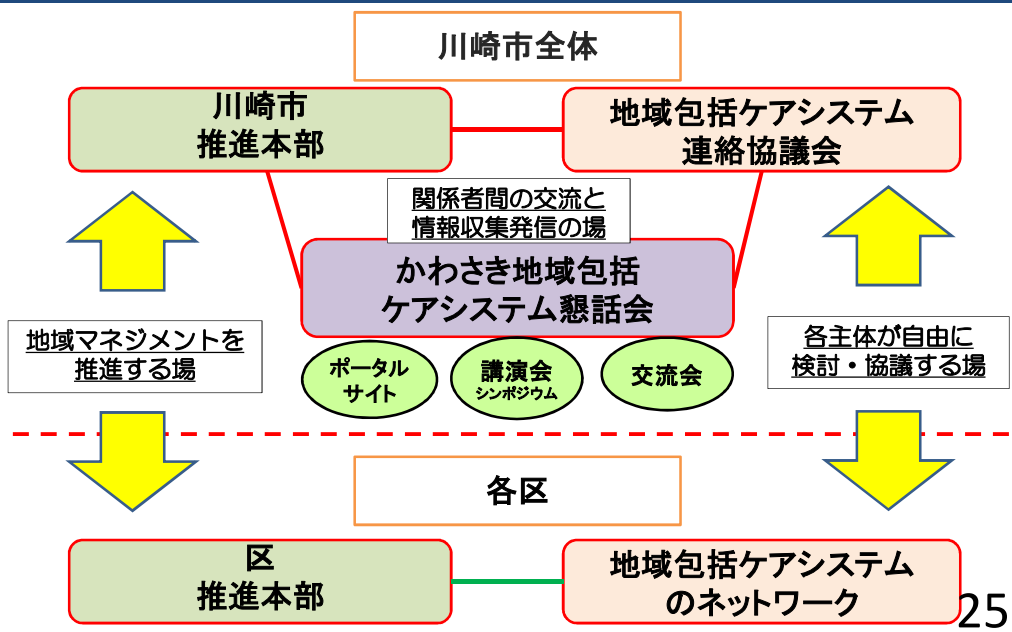
～地域全体における目標の共有と地域包括ケアをマネジメントするための仕組みの構築～

- (1) 地域全体における目標・基本方針の共有
- (2) 地域包括ケアをマネジメントするための仕組みの構築



24

## 地域包括ケアシステムの推進体制

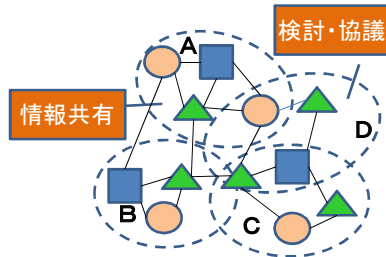
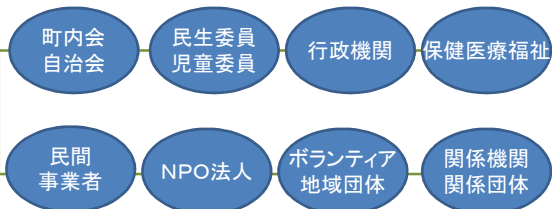


25

## 様々な分野・組織のネットワーク化

### 区における地域包括ケアシステムのネットワーク組織化

《全ての地域住民を対象に様々な分野・組織のネットワーク化》



- 情報共有
- 検討・協議

⇒既存の様々な協議体を活用してネットワーク化を図り、それぞれの特性・特色を活かして、「情報共有」や「検討・協議」を行います。

26

## 区役所に求められる3つの機能

### 【総合調整機能】

○地域マネジメントを行うにあたり、専門的支援機能や地域支援機能との有機的な連携を図るとともに、地域包括ケアシステム推進の企画・調整を行うための機能

### 【地域支援機能】

○自助・互助の促進やコーディネートを図るため、エリアを受け持つ地区担当が、多様な主体と協働し、「地域づくり」を支援するとともに、庁内の関係部署や多様な主体と連携し、地域課題を組織的に対応するほか、個別支援の強化に向けた対応を図っていくための機能

### 【専門的支援機能】

○高齢、障害、児童、保健・医療、生活困窮など、保健医療福祉における専門的な支援を必要とする個別的なニーズに対して、法制度等に基づく対応を図るため、主に、医療保険・介護保険などの共助や、行政処分などの公助に関わる機能

27

## 地域みまもり支援センターの組織概要

### 各区保健福祉センター

### 地域みまもり支援センター

地域ケア推進担当

地域支援担当

保育所等・地域連携

学校・地域連携

児童家庭課、高齢・障害課、保護課、衛生課

“3つの機能”の連携強化を図り、「自助・互助」の促進と「共助・公助」の適切な実施を図る！

市内を40の地域に分け、それぞれ複数名の保健師を配置し、地域課題を把握するとともに、「個別支援の強化」と「地域力の向上」に取り組む。

積極的に地域に出向きます！



28

## 多職種連携による重層的な相談支援

地区担当の「保健師」をはじめ、専門多職種が連携して対応する

- ・医師、歯科医師
- ・歯科衛生士、栄養士
- ・保健師、助産師
- ・社会福祉職、心理職

専門多職種による連携支援



すべての地域住民

29



## これまでの取組状況と施策効果

### 平成28年度以降の主な広報等の取組

- ・リーフレットの作成(町内会の協力のもと全戸回覧)
- ・市政広報紙の活用(地域包括ケアシステム特集、まんがの掲載)
- ・地域への出前説明(町内会・自治会、民生委員児童委員、関係団体等)
- ・職員の意識改革(研修会の開催、手引きの作成、eラーニングの実施)
- ・認知症アクションガイドブック(認知症ケアパス)の作成

### 施策の効果—他分野との連携による取組の波及

- ・まちづくり分野(居住支援協議会の設立、市営住宅の活用、空家対策)
- ・経済分野(新たな福祉機器の創出、民間事業者との連携)
- ・教育分野(小学生向け副読本、小中学生向け認知症サポーター養成講座)

30

## 医療と介護の連携に関する取組

- (1)市内の医師会、介護支援専門員連絡会で、「医師と介護支援専門員との意見交換会」を開催するとともに、各区においても、地域の実情に応じて情報交換等を実施。
- (2)市内の医師会、看護協会、介護支援専門員連絡会で、「在宅ケアを支える連携推進会議」を設け、事例検討等を通じた情報交換・課題共有等を実施。
- (3)認知症をテーマに、「医療・介護の連携」体制を検討するため、「川崎市認知症支援連携会議」を設けて、症例検討を実施。

31

## 在宅医療推進に向けた現状と課題

- (1) 急速な都市部の高齢化に対応した、24時間365日の在宅医療推進の仕組みづくりが求められている。  
⇒一人開業医が多い中で、かかりつけ医を中心に、訪問診療や往診にも取り組みやすい環境づくりに取り組むことが必要(課題①)。
- (2) 医療と介護の連携がよりスムーズに進められるような仕組みづくりが求められている。  
⇒医療と介護の円滑な連携に向けたルールづくりや、コーディネート機能のあり方の検討が必要(課題②)。
- (3) 在宅医療・ケアへの理解が十分に浸透しているとはいいきれず、市民の選択肢の1つとはなりきっていない。  
⇒行政や専門職等による市民への更なる啓発の取り組みを進めることが必要(課題③)。

32

## 川崎市における在宅医療推進に向けた取り組み

### 【取組の方向性(1)】24時間365日の在宅医療推進の仕組みづくり

- (1)「在宅チーム医療を担う地域リーダー研修」等による人材養成
- (2)各区の推進役となる在宅療養調整医師を各区に配置

### 【取組の方向性(2)】医療と介護の連携に向けた仕組みづくり

- (1)川崎市在宅療養推進協議会の開催(市民啓発WG、症例検討WG)
- (2)「在宅療養連携ノート」、「在宅医療資源ガイドブック」の活用  
「川崎市在宅医療・介護多職種連携マニュアル」の普及
- (3)在宅医療サポートセンターの運営
- (4)介護職向け医療・介護連携研修の開催

### 【取組の方向性(3)】在宅医療・ケアに関する市民啓発

- (1)リーフレット「在宅医療Q&A」の配布
- (2)市民シンポジウムの開催
- (3)出前講座の実施
- (4)在宅医療情報誌「あんしん」の発行

### ※区を単位とした在宅医療推進に向けた取組の推進

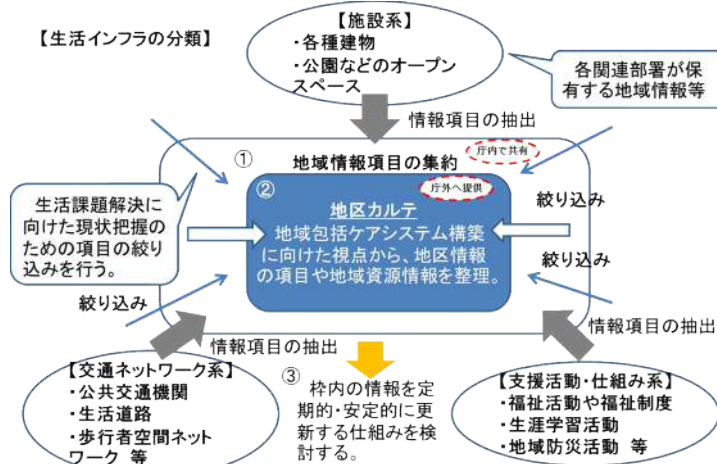
取組の方向性(1)～(3)の中から、各区医師会の発意に基づき推進

### ※あんしん見守り一時入院等事業

33

## 区役所における地域マネジメント(地区カルテの作成1)

本市で策定している「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」において、「地域全体における目標の共有と地域包括ケアシステムをマネジメントするための仕組みの構築」を掲げており、「個人を対象としたケアマネジメントと同様に、まず、地域全体をアセスメントした上で目指すべき目標を明確化し、その達成のための資源・機能を関係者との協働のもとに整備し、地域目標の達成状況を継続的にモニタリングしていくなどの役割が求められる」としているため、行政組織内においても、コミュニティ・エリアごとの地域情報の整理を図る目的で作成。



34

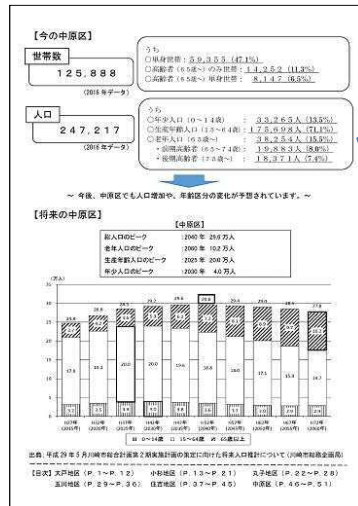
## 実例 中原区における地区カルテ

中原区  
地区カルテ  
【平成29年9月】

地区カルテとは？  
中原区をより細かに分け、地域情報と、情報をもとに地域の課題や課題等を分析した内容をまとめたものです。  
地域課題を広く共有し、課題解決に向けた取り組みを進めるためのツールとして活用してください。

今後の地区カルテは…  
地区カルテは、皆様からいただいた意見を反映し、更新を繰り返します。  
カルテの内容を充実させながら、課題の解決方法をいっしょに考えていきます。

地区カルテを使って目指す姿は？  
今後、人口構成など必要な環境の変化が予測される中、自分が住み慣れたまちで安心して暮らし続けられるために、中原区では地域包括ケアシステムを推進しています。  
自分が住む場所を安心して暮らし続けたいために、地区カルテを活用しながら、一人一人が自分からできることを少しずつ考えてみませんか？



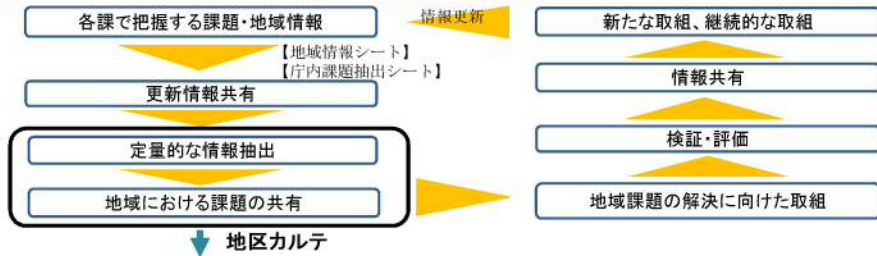
区全体の情報  
世帯数・人口・将来推計など

この他に区内をいくつかの地区に分けて、地区ごとに人口や子ども・高齢者・障害者の情報、地勢・住民の様子などをまとめている情報があります。

実際に中原区で活用している地区カルテです。自分が望む場所で安心して暮らし続けていくために、地区カルテを活用しながら、一人一人が今からできることを少しずつ一緒に考えていきましょう。と地域の方たちと一緒に課題や目標を作り共有することをテーマとして、一緒に考えて、意見を反映しています。

35

## 区役所における地域マネジメント(地区カルテの作成2)



〇〇区〇〇町(地区) 地区カルテ(標準例)

【凡例】

- 区 医療施設
- 保 保育園
- 福 福祉施設
- 緑 公園・緑地
- 遊 遊樂所
- 地 その他事項

掲載方針  
 ●地区カルテ情報シートに記載されている施設は緑色でプロットする。  
 ●地域課題として(大型マンション建設地)なども「その他」としてプロット

地域概要

人口動態	人口	人	世帯数	世帯
	年少人口	人		
	生産年齢人口	人		
	高齢者人口	人	65歳未満高齢者	人
			出生率	%

地域団体

相談機関  
 (担当部署の科名)  
 多人数相談センター名  
 子育て支援センター名  
 障害者生活支援センター名

【掲載の人口グラフ】 ※集計データを転入しています。

〇〇区〇〇町の状況

人口動態	項目	人	⇒ (2025年)	人
福祉指標	項目	%	⇒ (2025年)	%
健全度測定指標	項目	人	⇒ (2025年)	人
健全度測定率	項目	%	⇒ (2025年)	%

※全ての項目に必ず統計情報記載欄

36

## 各局における地域包括ケアシステムの代表的な取組1

**総務企画局**

**地域防災の取組**  
防災会議、防災訓練など

**経済労働局**

**ウェルフェアイノベーションによる取組**  
産業と福祉の融合による取組が、「多様な主体の活躍による、より良いケアの実現」につながるものと考え、地域包括ケアシステムの基本となる、自助、互助につながる取組をウェルフェアイノベーションプロジェクトなどで推進。

排尿予知センサーdfree  
在宅での介護で負担となる「排泄ケア」に関して、排尿を予知するセンサー。企業と連携して将来的には在宅ケアで活用し本人や家族の負担軽減につながるよう取組を進めていく予定。

**市民文化局**

**川崎デザインスクール**  
地域に出て市民と対話し、市民が参加したくなるような企画を考え、市民とともに課題解決を目指す活動に取り組むことが大切。地域に求められ市民が参加したくなるような活動づくりを通して、コミュニティデザインの基礎を学ぶ場として開講。

**環境局**

**ふれあい収集**  
ごみ集積所までごみを持ち出すことが出来ない65歳以上の高齢者や障がいをお持ちの方などを対象に、自宅前などに直接収集しに行くサービス。

**こども未来局**

**地域における子ども・子育て支援のしくみづくり**  
 ○妊娠・出産、乳幼児から青年期までの切れ目のない子ども・若者、子育て支援施策の推進。  
 ○各区と連携した地域の子ども・子育て支援の体制づくり。

37

## 各局における地域包括ケアシステムの代表的な取組2

### まちづくり局

#### 川崎市居住支援協議会

多くの課題に効率的に取り組むため、入居から退去までの流れの中で各課題を3程度に分類したうえで「専門部会」を設置し、部会の中で優先順位を決めて検討していく。

- (A)入居相談・情報発信に関する部会
- (B)居住継続に関する部会
- (C)退去時の手続きに関する部会

**高齢者、子育て世帯、障害者等の住宅確保要配慮者が安心して暮らせる住まいの確保のための取組**

### 建設 緑政局

#### グリーンコミュニティ形成プロジェクト (防災減災・子育て・高齢者)

緑を活用した地域の連携や多世代交流を進め、地域コミュニティの形成を促進し、地域防災力の向上、子育て環境の向上、高齢者の健康増進等を図る。

多様なニーズに対応した公園利用のルールづくりなど、公園を柔軟に利活用する取組を進める。

(上記内容は、川崎市緑の基本計画の改定について、環境審議会から受けた答申の内容であり、現在これに基づいて、行政計画を検討中。)

### 病院局

地域包括ケア病棟(45床)の整備 <平成28年11月>

《病棟の機能・特徴》

- ①急性期を脱した患者の受け入れ
- ②自宅や介護施設等からの急性増悪等の患者の受け入れ
- ③在宅復帰支援



#### 《体制の強化》

- ①専従リハビリスタッフの配置とリハビリスタッフの増員
- ②専任在宅復帰支援担当者の配置

地域ケア懇談会の開催、病院と在宅ケアネットワークの開催、24時間連携登録医制度、緩和ケア・コンサルテーション事業、訪問診療など川崎らしい都市型の地域包括ケアシステム構築に貢献

**円滑な在宅復帰に向けた市立病院の取組。**



#### 患者側のメリット

日常生活動作(ADL)の改善  
スムーズな在宅、介護施設等への移行

### 教育 委員会

#### 教育分野の取組

- 福祉教育
  - 地域の寺子屋事業
- 地域ぐるみで子どもの学習や教育をサポートする事業です。随時開講し、現在約30か所の寺子屋において創意あふれる活動を展開しています。

38

## 今後の取組の方向性

○平成29年度に策定する市総合計画および主な個別計画との一体的な策定(地域福祉計画・地域医療計画・高齢計画・障害計画)

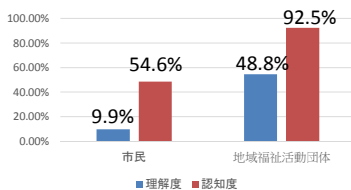
○連絡協議会において、地域で活動している団体の発表を取り入れるとともに、活発な議論の場をして充実を図る。

○地域みまもり支援センターを中心に専門機関と連携し、あらゆる課題への対応を図る。

○地域包括ケアシステムの市民理解度の向上(市総合計画上の指標)

2015年(平成27年): 10.1%⇒2025年(平成37年): 42%

地域包括ケアシステム理解度等



名称	現状	第1期実施計画目標値	第2期実施計画目標値	第3期実施計画目標値
地域包括ケアシステムの考え方の理解度	10.1% (平成27年度)	16.0% (平成29年度)	32.0% (平成33年度)	42.0% (平成37年度)

39

## 市民への最重要メッセージ

市民一人ひとりができることとして、

まず、生きがいと健康を意識して

自分の周りを、「もうちょっとだけ」気にすると…

自分がしてほしいこと、隣近所だからできること…

支え合いの「参加」、「活動」による生きがいと健康の獲得

現在…

10年後…

30年後、50年後…

私たちのこれから…  
親は？  
子どもたちは？

40

## 川崎市地域包括ケアシステムポータルサイト

- 川崎市における地域包括ケアシステムに関する様々な情報を掲載
- 医療・介護・福祉に関するイベント情報発信

ポータルサイト トップページイメージ

<https://www.kawasaki-chikea.jp>

川崎市地域包括ケアシステムポータルサイト

川崎市における地域包括ケアシステムに関する情報を広く発信するとともに、保健医療・介護・福祉等に携わる多様な主体の方々が情報の共有や意見交換を行いながら、地域包括ケアシステムの構築をしていくことを目的としています。

ログインID  
パスワード  
 次回から自動でログイン  
ID・パスワードを忘れた方はこちら

ログイン

ご登録がまだの方はこちら  
新規会員登録

一般用 会員用 協議会用

HOME 地域包括ケアシステムポータルサイトとは 地域包括ケアシステムの取り組み お知らせ イベント情報 お役立ち情報

地域包括ケア ポータル 検索

41

## かわさき犬・猫愛護ボランティア 動物介在活動(AAA)の報告

### 動物介在活動(AAA)とは

#### 動物介在介入 AAI (Animal Assisted Intervention)

1. **動物介在活動 AAA (Animal Assisted Activity)**  
対象者の生活の質を向上させるため対象者の意欲を引き出すきっかけ作りであり、具体的な治療目標、教育目標の設定はなく詳しい記録を取ることを必要としない。
2. **動物介在教育 AAE (Animal Assisted Education)**  
教育のカリキュラムにのっとり専門家と実施、評価される。
3. **動物介在療法 AAT (Animal Assisted Therapy)**  
医学的プログラムを専門家と共に行い、改善経過が評価される。

## 介在活動の諸条件を決めるにあたって

---

- 動物の愛護と管理に関する法律

- 国際的動物福祉の「5つの自由」

- ① 飢えと渇きからの自由
- ② 肉体的苦痛と不快からの自由
- ③ 外傷や疾病からの自由
- ④ 恐怖や不安からの自由
- ⑤ 正常な行動を表現する自由

を参考にした。

## 参加犬としての評価基準

---

- ① ハンドラーと犬とのコミュニケーションが確立している
- ② ハンドラー、犬ともに健康上問題ない(犬は健康診断書の提出)
- ③ 噛まない
- ④ 大勢の人の中に入っても落ち着いていられる
- ⑤ 他の参加犬と干渉し合わない



## 介在活動の実施基準

---

- ① 移動時間が片道40分以内
- ② 実施時間は1時間30分以内
- ③ 室内で実施
- ④ 実施場所の温度管理や環境管理がし易い  
(冷暖房管理、出入りし易い、臭い、広さ)
- ⑤ 夏場(8、9月)は実施しない
- ⑥ 活動前のシャンプー
- ⑦ 子どもの人数に対する犬の頭数のバランス  
(子ども4～5人に対して犬1頭)

## 介在活動を通して子どもたちに伝えたいこと

---

- 犬とのあいさつの仕方
- どんな接し方をすれば友達になれるか
- 犬は素晴らしい能力を持っている → 人はその助けを借りている  
→ 互いに助け合って暮らしている
- 犬の命を守ること → 自分を守ることであり、他者を守ること
- 犬も勉強するとこんなことができる(犬が学んだことの発表)

## 介在活動をするにあたっての注意点

---

- ① 活動に参加できるハンドラーと犬の育成が必要不可欠（すぐに活動できるものではないこと）。
- ② 身体状況、普段の様子等総合的に判断することができるか。
- ③ 動物介在というと一般的に「動物ふれあい体験」というイメージを持たれがちだが、それだけが目的なのではなく、動物を介して命の大切さ、他者を認め思いやる心を育てることを伝えていくことが一番重要な役割。
- ④ その個体が本当に介在活動に適した性格であるか、ハンドラーが無理強いをしていないかを見極める基準の作成の必要性を認識できるか。

## 一番大切なこと

---

- ① 犬は自ら介在活動をしようとは思ってはいない。
- ② ハンドラー（飼い主）の意思でやることであるから、その個体が本当に介在活動に向いているかどうかをきちんと把握した上での参加でなくてはならない。
- ③ 犬の状況をよく把握し、あくまでも犬に負担をかけないことを第一に考えて活動したい。
- ④ ハンドラー（飼い主）が忘れてはならないことは、犬を「提供」することではない！！

## 川崎市動物愛護センターのコンセプト

---

① いのちを学ぶ場

② いのちをつなぐ場

③ いのちを守る場

「人と動物の共生する社会の実現」

# 川崎市動物愛護センターの再編整備について

## 1 事業概要

川崎市動物愛護センター整備基本計画に基づき、人と動物の共生する社会の実現を目指し、「いのちを学ぶ場」「いのちをつなぐ場」「いのちを守る場」としての3つの役割を果たし、動物を通じて、誰もが集い、憩い、学べる交流施設として動物愛護センターを整備するものです。

## 2 工期

平成29年10月12日着手  
平成30年12月28日完成（予定）



## 3 延べ床面積 約 2300m<sup>2</sup>

## 4 施工業者等

- 設計・監理 株式会社 環境デザイン研究所
- 建築工事 株式会社 八木工務店
- 電気設備工事 協成電気 株式会社
- 空調設備工事 株式会社 富士設備
- 衛生設備工事 株式会社 玉川設備
- 昇降機工事 日本エレベーター製造株式会社



## 5 現状

健康福祉局生活衛生課、施設課、まちづくり局、施工業者、動物愛護センター等で現場定例打合せを月2回行い、また、メール等での綿密な連絡等により工事進捗状況の情報共有等を行っている。

## 現場進捗状況



平成29年11月8日



平成29年12月20日



平成30年1月31日

## 6 平成30年度実施予定事業等

### (1) 動物愛護センター愛称募集

動物愛護センターに関心や親しみを持っていただく施設するため、広く愛称を募集します。

### (2) 企業等との連携実施

日本ヒルズ・コルゲート株式会社からのフードの寄附など企業等と連携協働を行います。



## ひと♡どうぶつMIRAIプロジェクト

### 日本ヒルズ・コルゲート株式会社と

### 動物愛護事業に関して連携・協働します。

川崎市と日本ヒルズ・コルゲート株式会社は、「ひと♡どうぶつMIRAIプロジェクト」の一環として、連携・協働を実施することになりましたので、次の通り日本ヒルズ・コルゲート株式会社副社長が市長を訪問します。

#### 市長訪問

日時 平成30年2月14日(水) 15時30分～15時50分

場所 川崎市役所第3庁舎6階 市長応接室(川崎市川崎区東田町5-4)

内容 出席者紹介、概要説明、寄附品贈呈、記念撮影、歓談

出席者 日本ヒルズ・コルゲート株式会社 副社長 安岡 幸徳 氏 他  
川崎市市長 福田 紀彦

#### 【連携・協働の概要】

##### (1) 川崎市動物愛護センターへのペットフードの提供

「ペットフードの寄附に関する合意書」の締結  
動物愛護センターの収容動物の飼養管理の支援として、定期的にペットフード等を提供いただくことになりました。



##### (2) 研修会等への講師派遣

川崎市・かわさき犬・猫愛護ボランティア協働研修会

日時・場所 2月24日(土) 14時～16時 高津区役所5階会議室

題名 「猫の行動学～猫の気持ちを知るヒント～」

講師 入交 眞巳 氏(獣医師・日本ヒルズ・コルゲート株式会社)

※ご好評につき、定員になりましたので、募集は締め切らせていただいております。

##### (3) 動物愛護事業への支援

更なる動物愛護事業への連携を検討します。



高栄養フードを食べるセンター収容猫

#### 【問合せ先】

川崎市健康福祉局保健所

動物愛護センター 小倉

電話 (044) 766-2237



# 「ひと♡どうぶつMIRAIプロジェクト」



本市では、ボランティア団体など多様な主体と連携し、いのちを「まなぶ」、いのちを「つなぐ」、いのちを「まもる」をキーワードに取組を進め、人と動物が共生する地域社会の実現に向けた「ひと・どうぶつMIRAIプロジェクト」を平成27年9月から進めています。

## 【取組例】

### 1. 川崎市動物愛護基金

- … 平成26年度からの寄附制度に加えて、動物愛護事業をより安定して活用できるよう、「川崎市動物愛護基金」を平成28年4月1日に新設しました。  
平成28年度は、**9, 234, 653円**の金銭の御寄附と**212件**の物品の御寄附をいただき、平成26年度からの寄附金の合計は、**23, 860, 826円**となっています。(平成29年12月末現在)

### 2. 外部有識者や市民の方々との意見交換会・ワーキング会議の開催

- … 「動物を通じて子どもたちへ、いのちの大切さを伝える」ため、いのちの教育のあり方や方向性を検討し、新しい動物愛護センターでの教材作りに着手しています。

### 3. (公社)川崎市獣医師会との技術支援協定の締結

- … 負傷動物への治療を強化するために、平成28年度に獣医師会と技術支援協定を結び、技術習得研修等を実施しています。

### 4. 犬・猫譲渡会の毎月第3日曜日定期開催

- … 動物愛護団体等と連携し、毎月第3日曜日に定期開催しています。

### 5. 川崎市総合防災訓練での動物との同行避難訓練の実施

- … 同行避難への正しい知識を広めるため、飼い主の方が犬・猫とともに同行避難する訓練を実施しています。

### 6. 地域猫活動セミナーの開催

- … 地域猫活動を知ってもらうために、市民の方を対象とした公開講座を3回開催し、地域猫活動の支援について取組を進めています。

### 7. 適正飼養の普及啓発「ペットとくらす さしすせそ」

- … 高齢者をはじめ、多くの方にペットを正しく飼っていただき、飼い主もペットも安心して暮らせるよう「料理のさしすせそ」になぞらえて「ペットとくらすさしすせそ」という川崎市オリジナルの語呂を作成し、冊子やチラシにして、主に高齢者関係イベントや施設に配布、お知らせしています。

## 8. 適正飼養キャンペーン 7区主要駅周辺での啓発グッズ配布

… キャンペーン期間を設け、飼い主以外の方々にも動物愛護を普及させるため、啓発グッズの市内一斉配布を実施しています。

## 9. 市民公開講座の開催

… 市民の方にペットの育て方・しつけ方法などを知ってもらうために、市民の方を対象とした公開講座を開催しています。

本市は、ボランティアの皆様の献身的な活動や、多くの方々からの寄附の御支援をいただきながら、動物愛護事業を推進しています。

平成28年度は、**9,234,653** 円の金銭と**212**件の物品の御寄附をいただきました。

みなさま、ありがとうございました。





参加費無料

川崎市、かわさき犬・猫愛護ボランティア研修委員会 主催

# 猫の行動学～猫の気持ちを知るヒント～

開催日時

2018年 **2月24日(土)**

**14:00～16:00**

(13:30～受付開始)

**【※注意※】**  
ご好評につき、定員になりましたので、  
募集は締め切らせていただいております。

先着  
100名

開催場所

**高津区役所**

5階 501・502会議室

(川崎市高津区下作延2-8-1)

参加対象：どなたでもご参加いただけます。  
申し込みは**2018年1月25日(木)**から。

■ こんな方におすすめです ■

- ◇ 猫の気持ちを理解するヒントが欲しい!
- ◇ 野良猫や地域猫との距離を縮めるコツを知りたい!
- ◇ 飼い猫を動物病院へ連れていくのに毎回四苦八苦。何かいい方法を知りたい!
- ◇ 猫が好きな方!

■ 講師紹介 ■



日本ヒルズ・コルゲート株式会社  
入交 眞巳 先生

猫が尾を立てているときは何を考えているのでしょうか? 今回の講演ではネコの行動を動画で見させていただきながら猫の気持ちを読めるようになっていただきたいと思います。

また、大嫌いな動物病院に行くときにできるコツ、病院で暴れさせないコツ、猫の気持ちを考えたうえで、猫に何をしてあげられるのか、そんなヒントもお話したいと思います。

川崎市動物愛護センター

お問い合わせ

お申し込み先

電話：044-766-2237 (平日8:30～17:15) FAX：044-798-2743

メール：40dobutu@city.kawasaki.jp

FAX・メールでお申込みの場合は、お名前・住所地(川崎市内・外)・電話番号の明記をお願いいたします。



## 会社概要

ヒルズはペットが長く健康な一生を全うできるよう、最新の小動物臨床栄養学を基にペットフードの研究開発を続けている世界のリーディングカンパニーです。人とペットのハピネスを目指し、互いが共生できるより良い環境や社会を実現するために、ヒルズはたゆまぬ企業努力を続けています。

- 会社名：日本ヒルズ・コルゲート株式会社
- 設立：1977年1月10日
- 所在地：東京都千代田区二番町5-25  
二番町センタービル7F
- 代表者：代表取締役社長 瀬口 盛正
- 資本金：5,000万円
- 従業員数：152人（2019年1月現在）

- 事業内容：ドッグフード、キャットフード販売

### ①プリスクリプション・ダイエット

ペットのさまざまな病気に合わせて、成分を適切に調整した特別療法食

### ②サイエンス・ダイエット

ペットのライフステージやライフスタイル、健康ニーズに応えるために、栄養バランスを適切に調整したサイエンス・ダイエット

### ③サイエンス・ダイエット<プロ>

最新の栄養学で、ペットの健康ニーズに応えるために特別に開発されたサイエンス・ダイエット<プロ>



## 1 かわさき犬・猫スタディーグループとは

従来より活動いただいております「かわさき犬・猫愛護ボランティア研修委員会」の名称を「かわさき犬・猫スタディーグループ」と変更しました。当グループの活動は、ボランティアと市職員のスキル・知識の向上、市民への事業紹介や普及啓発を目的としています。お気軽に御参加いただき、今後のボランティア活動に活かしていただけますと幸いです。

## 2 開催予定

- 2月22日（木） 14時00分～ かわさき市民活動センター会議室
- 3月29日（木） 14時00分～ かわさき市民活動センター会議室 以降月1回程度

※ 5月12日（土） 13時30分～ 高津市民館会議室  
高齢者とペットの問題研究会セミナー（高齢者とペットの問題研究会と共催）

## 3 連絡方法

かわさき犬・猫スタディーグループへの御参加や、ご不明点等につきましては、川崎市動物愛護センター担当：高橋 麻弓子へご連絡ください。

（会議室の関係上、事前にかわさき犬・猫スタディーグループへの参加についてご連絡ください。）

## 4 今年度のかわさき犬・猫愛護ボランティア研修会報告

### (1) 第4回 「保護犬・保護猫・野良猫の現状を知る」

- ア 日時 平成29年12月2日（土） 13時～15時
- イ 場所 中原区役所501会議室
- ウ 参加者数 49名

保護犬・保護猫・野良猫の現状を知り、付き合い方を知ることで「自分が飼っているペット以外の犬・猫と、どのように接したらいいのか」を学ぶセミナーを開催しました。

保護猫・野良猫については、実際に TNR 活動をされているかわさき犬・猫愛護ボランティアより、TNR の概要やご自身の活動内容についてお話いただきました。

保護犬については、保護犬の背景や、接するとき気を付けること、家庭犬との違いについてお話いただきました。

### (2) 第5回 「猫の行動学～猫の気持ちを知るヒント～」

- ア 日時 平成30年2月24日（土） 14時～16時
- イ 場所 高津区役所5階会議室

猫の行動学の専門家でいらっしゃる入交先生（日本ヒルズ・コルゲート株式会社）をお迎えし、動画を見ながら猫の気持ちを学ぶセミナーです。

御好評につき定員に達しましたので、お申込みを締め切らせていただきました。

## 哺乳猫育成ボランティアについて

## 1 目的

川崎市動物愛護センター（以下「センター」という。）に收容された哺乳が必要な子猫について、殺処分削減と譲渡の推進のため、一時的に自宅で保護し、哺乳し、育成するボランティア（以下「ミルク猫ボランティア」という。）を募集する。

## 2 対象動物

センターに收容中の哺乳が必要な子猫

## 3 ボランティア対象者

かわさき犬猫愛護ボランティアでミルク猫ボランティアに登録している者

## 4 ボランティア登録要件

- ・センターで実施する講習会を受講すること。

日時：平成30年3月9日（金）14時～16時

場所：動物愛護センター

- ・職員の自宅訪問等により、ボランティア活動が実施可能と認められること。
- ・誓約書等必要な書類を提出すること。
- ・集合住宅、賃貸等の場合は、動物の飼育が承認されていることが明示されている規約等の写しを提出できること。
- ・先住猫がいる場合に、子猫を隔離するスペースがあること。先住猫が混合ワクチンを接種していること。
- ・留守番が少ないこと。

## 5 対象期間

申請書を提出し、自宅での哺乳を始めてから子猫が離乳するまでの期間（生後2か月が目安）、自宅にて育成し、離乳後は川崎市動物愛護センターへ返還する。返還の時期はセンターが指定する。

## 6 活動内容

子猫の発育ステージにあわせた飼育管理を実施し、随時センターへ報告する。子猫の感染症対策を実施し、健康状態に配慮する。

## 譲渡会ボランティアについて

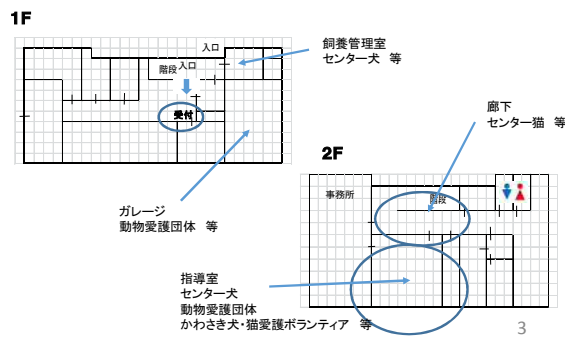
### 譲渡会について

- ・日時 毎月第3日曜日 14時～16時  
(13時半～14時ボランティアミーティング、準備)
- ・場所 川崎市動物愛護センター

※9月の譲渡会は動物愛護フェア内で実施

2

### 動物愛護センター見取り図



### 譲渡会ボランティアの業務内容

- ① 普及啓発(受付)
- ② 犬担当
- ③ 猫担当

4

#### ① 普及啓発

- ・来場者数カウント
- ・会場案内
- ・募金箱の管理
- ・リーフレット配布

5

#### ②③ 犬・猫担当

- ・性格、特徴の説明
- ・譲渡条件の説明
- ・譲渡までの流れの説明
- ・譲渡時に必要な物の説明

6

## 譲渡会ボランティアの登録要件

- かわさき犬・猫愛護ボランティアに登録していること。
- センターが定める譲渡会ボランティア講習会を修了していること。
- 川崎市が求める動物の適正飼養を行っていること。

7

どうぶつあいご  
**動物愛護フェアかわさき2017**

**日時** 平成29年9月24日(日) 10:00～15:00  
 (雨天決行・荒天中止)

**会場** 中原区役所ほか(川崎市中原区小杉町3-245ほか)

会場へは公共交通機関をご利用ください。建物内に動物を連れての入場はできません。



どうぶつはみんなともだち ちきゅうのなかま



川崎市民150万人突破記念  
**各回150人の方に無料配布!**

市内産野菜  
 10:45～

動物柄  
 ペットボトルカバー  
 11:45～

動物柄ミニタオル  
 12:45～

※1家庭につき各回1個ずつとさせていただきます。別館前広場に配布。

しょうとかい  
**譲渡会**

ちょうどうけん もうどうけん  
**聴導犬・盲導犬デモンストレーション**

じゅうい たいけん  
**獣医さん体験**



※写真の猫はフェア当日に会場にいない  
 こともあります。(11:00～14:00)



※2回ずつ実施予定。



白衣を着て獣医さんに!

ミニシアター「ペット」

あつ  
**集まれ! アニマルキッズ**

よせ どうぶつらくご  
**寄席(動物落語)**



(C) 2015 Universal Studios. All Rights Reserved.

上映 11:00～12:30  
 (10:30から整理券を配布)



プチ仮装をして**13:30**に集合!

ミミ・ケロと一緒に写真を撮ろう!  
**動物パンや動物グッズ**がもらえるよ!  
 簡単な仮装でも大丈夫!

※中学生以下の方に限らせていただきます。実行委員会撮影アータなどを提供することはできませんのでご了承ください。SNSなどへの掲載については、個人の責任での管理とさせていただきます。配布するパンなどは数に限りがございます。



○風林亭 船治郎  
 ○はなし家 遊楽  
 ○喜楽亭 笑吉



13:30～14:30  
 (13:00から整理券を配布)

かし ざっかはんばい  
**お菓子・雑貨販売**

ほうさい  
**ペットの防災**

えんにち  
**縁日コーナー**



社会福祉施設製造のお菓子・動物柄雑貨



ペットの防災展示コーナー  
 オリジナルの迷子札をつくらう!  
 起震車も来るよ!(13:30～)



ヨーヨー釣りができるよ!  
 駄菓子ももらえるよ!(どちらも無料)

◆その他、参加団体や協賛団体の展示コーナー・クイズコーナー、わが家のペット写真展などもあります。詳しくは裏ページを。

協賛(50音順) アニコム損害保険株式会社 一般財団法人化学及血清療法研究所 エランコジャパン株式会社 新日本カレンダール株式会社  
 ソエティス・ジャパン株式会社 DSファーマアニマルヘルス株式会社 日本全薬工業株式会社 日本動物高度医療センター  
 平和会ペットメモリアルパーク 森久保薬品株式会社 夜間動物救急センター

主催:川崎市・公益社団法人川崎市獣医師会

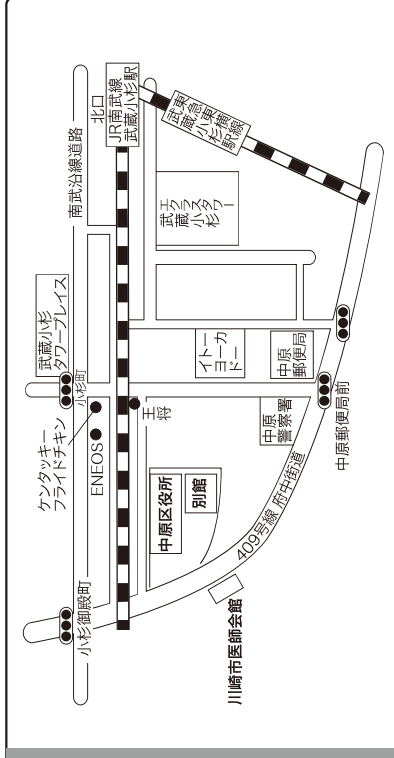
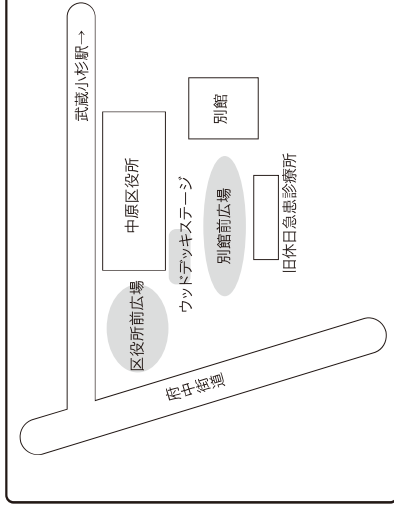
実施主体:動物愛護フェアかわさき2017実行委員会

問合せ:実行委員会 電話 044-200-2449 FAX044-200-3927

当日の問合せ:中原区役所保健福祉センター衛生課 電話 044-744-3271 FAX044-744-3342

# イベント案内

## (タイムスケジュール)



## 会場の案内

<b>区役所</b>	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
<b>ウッドデッキステージ</b>		聴導犬 デモンストレーション 11:00~11:30	盲導犬 デモンストレーション 12:00~12:30	聴導犬 デモンストレーション 13:00~13:30	盲導犬 デモンストレーション 13:50~14:20	
<b>ロビー</b>	獣医さん体験・迷子札作成コーナー					
<b>区役所前広場</b>	お菓子・雑貨販売、緑日、協賛企業・団体コーナー					
<b>医師会館</b>	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
<b>3階ホール</b>		動物愛護賞、長寿犬・長寿猫表彰式 10:30~11:40				
<b>区役所別館</b>	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
<b>ロビー</b>	わが家のペット写真展・動物愛護パネル展					
<b>講堂</b>	議 渡 11:00~14:00					
<b>小児室</b>	整理券配布 10:30~ 別館前広場にて配布	ミニシアター「ペット」 11:00~12:30				
<b>幼児室</b>			整理券配布 13:00~ 別館前広場にて配布	寄席「動物落語」 13:30~14:30		
<b>別館前広場</b>	野菜配布 10:45~	グッズ配布 11:45~	グッズ配布 12:45~	アニマルキッズ集合写真 13:30~		
	起震車体験 13:30~15:00					

※当日の天候等により、イベント内容や出展内容、レイアウトが変更になる場合があります。

※身体障害者補助犬法における補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）以外の動物は、建物内に持ち込むことはできません。あらかじめご了承ください。



かわさき犬・猫愛護ボランティア  
平成30年度スケジュール

資料 8

平成30年2月13日

	主なイベント等
4月	
5月	5月12日(土) 13時30分～ 高津市民館会議室 高齢者とペットの問題研究会セミナー
6月	
7月	(仮) 第1回ボランティア会議
8月	
9月	(仮) 動物愛護フェアかわさき2018
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	新センター開所予定
3月	
備考	● 第2回ボランティア会議は11月以降で開催予定 ● スタディーグループは月1回開催、研修日程等は かわさき犬・猫スタディーグループにより決定

スケジュールにつきましては、変更になる可能性があります。